



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ボーソー油脂株式会社
コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員
四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

(氏名) 片岡 治男
(氏名) 難波 克行

TEL 047-433-5551

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,878	△1.9	187	—	180	—	114	—
26年3月期第1四半期	4,972	8.9	△27	—	△33	—	△21	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 122百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	7.27	—
26年3月期第1四半期	△1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	10,977	4,314	39.3	273.24
26年3月期	10,928	4,270	39.1	270.49

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,311百万円 26年3月期 4,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	—	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,300	△6.6	150	—	150	—	90	—	5.70
通期	18,900	△7.0	235	—	240	—	150	—	9.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	16,060,000 株	26年3月期	16,060,000 株
27年3月期1Q	280,675 株	26年3月期	280,315 株
27年3月期1Q	15,779,479 株	26年3月期1Q	15,780,324 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しており、8月6日付けの四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。なお、業績予想の前提となる仮定その他の条件については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和を背景として企業収益や雇用環境が改善傾向を示すなど、穏やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の影響や海外経済の下振れが懸念されるなど景気の先行きは依然として不透明な状況となりました。

植物油業界におきましては、それまで高騰を続けてきた海外原料穀物価格が昨年夏場頃から低下傾向となりましたが、円安の影響もあり引き続き高値圏にあるなかで、油脂需要が伸び悩み、販売競争が激化するなど厳しい経営環境となりました。

こうした状況のなかで、当社グループでは、顧客ニーズにマッチしたきめ細かな営業活動を展開し、油脂製品の販売数量につきましては、食用油は前年同期間並みとなりましたが、工業油の増加を図ることができ、油脂製品の連産品である油粕製品につきましても生産に合わせた適切な販売数量を確保することができました。石けん・化粧品につきましては、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の影響から減少いたしました。

なお、売上高につきましては、海外原料穀物価格の低下を受け油脂製品価格が低下したことを主因として若干の減少となりました。

利益面につきましては、固定費を中心に全社的なコスト削減を実現するなかで、海外原料穀物価格の低下を受け、油脂製品の収益が好転したことにより、大幅な改善を図ることができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における営業成績は、売上高48億78百万円（前年同四半期は49億72百万円）、営業利益1億87百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）、経常利益1億80百万円（前年同四半期は経常損失33百万円）、四半期純利益1億14百万円（前年同四半期は四半期純損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における資産の部は、109億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加いたしました。主な要因は、棚卸資産の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末比5百万円増加の66億63百万円となりました。主な要因は、仕入債務の増加によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末比より43百万円増加の43億14百万円となりました。主な増加の要因は、四半期純利益を1億14百万円計上、その他有価証券評価差額金7百万円であり、主な減少の要因は、剰余金の配当金の支払78百万円であります。

(キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高より2億2百万円増加しましたので、14億31百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は3億86百万円（前年同四半期は3億38百万円の獲得）となりました。主な増加の理由は、税金等調整前四半期純利益1億80百万円、減価償却費86百万円、売上債権の減少額3億17百万円、主な減少の理由は、たな卸資産の増加額2億43百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は45百万円（前年同四半期は27百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1億38百万円（前年同四半期は1億43百万円の使用）となりました。これは主に借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、一部の連結子会社は定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、今後の設備投資計画の重要性を勘案した結果、当社グループ内の連携強化と製造設備の再配置を進める上で必要な管理の統一性を図ると同時に、関連設備は長期安定的に稼働し貢献することから固定資産の使用実態に即した減価償却の方法として定額法を採用することが適切と判断したためであります。

これにより、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,492千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,290,367	1,493,113
受取手形及び売掛金	3,998,353	3,680,774
商品及び製品	594,643	696,812
仕掛品	190,258	248,282
原材料及び貯蔵品	545,701	629,393
その他	193,016	162,884
貸倒引当金	△4,463	△4,113
流動資産合計	6,807,877	6,907,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	530,890	525,190
機械装置及び運搬具（純額）	1,334,835	1,282,231
土地	1,519,067	1,519,067
その他（純額）	20,166	18,409
建設仮勘定	3,620	12,735
有形固定資産合計	3,408,579	3,357,634
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	217,166	229,312
その他	455,683	448,513
投資その他の資産合計	672,850	677,826
固定資産合計	4,120,211	4,070,525
資産合計	10,928,089	10,977,674

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,041,152	3,107,603
短期借入金	1,376,300	1,348,850
未払法人税等	23,139	26,116
賞与引当金	106,784	153,827
その他	471,719	489,886
流動負債合計	5,019,097	5,126,284
固定負債		
長期借入金	812,500	714,600
退職給付に係る負債	516,852	515,142
役員退職慰労引当金	79,713	80,468
負ののれん	4,304	3,766
その他	224,826	222,744
固定負債合計	1,638,197	1,536,721
負債合計	6,657,294	6,663,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,082,938	2,118,757
自己株式	△49,584	△49,633
株主資本合計	4,199,250	4,235,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,976	76,499
その他の包括利益累計額合計	68,976	76,499
少数株主持分	2,568	3,148
純資産合計	4,270,795	4,314,668
負債純資産合計	10,928,089	10,977,674

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
売上高	4,972,700	4,878,207
売上原価	4,449,268	4,176,979
売上総利益	523,432	701,228
販売費及び一般管理費	550,459	514,083
営業利益又は営業損失（△）	△27,026	187,145
営業外収益		
受取利息	29	2
受取配当金	1,816	2,709
持分法による投資利益	267	29
負ののれん償却額	659	538
受取手数料	570	584
受取補償金	926	398
雑収入	2,252	1,411
営業外収益合計	6,520	5,673
営業外費用		
支払利息	10,702	10,843
支払手数料	1,080	1,080
その他	855	414
営業外費用合計	12,638	12,337
経常利益又は経常損失（△）	△33,144	180,481
特別損失		
固定資産除却損	9	-
特別損失合計	9	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△33,153	180,481
法人税、住民税及び事業税	17,514	23,788
法人税等調整額	△29,728	41,394
法人税等合計	△12,214	65,183
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△20,939	115,298
少数株主利益	205	580
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△21,144	114,717

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	△20,939	115,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,327	7,522
その他の包括利益合計	3,327	7,522
四半期包括利益	△17,611	122,820
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,816	122,240
少数株主に係る四半期包括利益	205	580

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△33,153	180,481
減価償却費	89,222	86,716
負ののれん償却額	△659	△538
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△9,503	-
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	-	△1,710
賞与引当金の増減額（△は減少）	73,323	47,042
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	679	754
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△169	△350
持分法による投資損益（△は益）	△267	△29
受取利息及び受取配当金	△1,845	△2,711
支払利息	10,702	10,843
固定資産除却損	9	-
売上債権の増減額（△は増加）	137,736	317,579
たな卸資産の増減額（△は増加）	△648,344	△243,885
仕入債務の増減額（△は減少）	706,814	66,451
未払消費税等の増減額（△は減少）	5,042	△8,463
未払費用の増減額（△は減少）	17,285	△33,203
その他	7,434	△4,827
小計	354,308	414,149
利息及び配当金の受取額	1,845	2,711
利息の支払額	△10,305	△10,416
法人税等の支払額	△7,333	△19,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,514	386,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△347	△389
有形固定資産の取得による支出	△33,238	△44,594
無形固定資産の取得による支出	△180	-
貸付金の回収による収入	8,350	-
その他	△2,179	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,595	△45,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	402,000	552,000
短期借入金の返済による支出	△425,000	△575,000
長期借入金の返済による支出	△112,650	△102,350
配当金の支払額	△6,196	△12,103
その他	△1,716	△1,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,563	△138,826
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	167,355	202,746
現金及び現金同等物の期首残高	953,257	1,228,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,120,613	1,431,053

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及び副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。